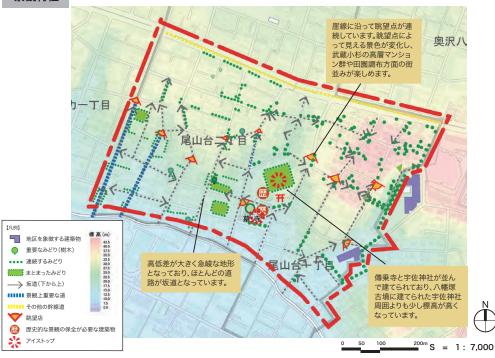
1-3 尾山台1・2丁目エリア~地形と歴史~

多摩川の浸食により生成された崖線上に整備された住宅地であり、起伏の激しい地形が特徴となっています。 田園都市株式会社による田園調布の開発の際、その影響がこのエリアにも及び、区画整理が行われました。 急峻な地形でありながら直線道路を用いた区画整理が行われたため、至る所に急坂が形成され、坂・谷と直線 道路が造り出す眺望の良さが大きな特徴となっています。古墳や寺社仏閣を有し、歴史資源が豊富にあることも このエリアの特徴です。

景観特性



1.坂による多様な見通し



この地域の建物は街路の高さより、一段高く 建物が立っているため、線状に切り取ったよ うな景観を作り出します。多摩川に向かい直 線的に伸びる街路があることが特徴的であ る一方、崖線に向かい斜めに通る街路も存 在します。このように、様々な角度を持った直 線道路が画一的な眺望になることを防ぎ、景 観の多様性を作り出しています。

2.寺社仏閣による住宅地の落ち着き 3.谷による住宅地内での見通し



宇佐神社、傳乗寺はその歴史と環境により 住宅地の中に歴史を感じる落ち着きをもた らします。宇佐神社、八幡塚古墳の場所は周 辺より高くなっているため、外から目を引くだ けでなく、中からは南側の景色を一望するこ とができます。



激しい土地の高低差は東西方向にもみられ その特性によって谷が生まれています。この 谷の地形が、直線道路の前面にあらわれて いる景観は非常に魅力的です。更に、尾根に 立つと谷底を経由して向こうの尾根まで見え 谷底に立つと両側に高い斜面が見られます。 この2点の景観形成が成されていることも特

景観形成の目標

地形や歴史資源がもたらす景観の多様性を保全する

本エリアは、急峻な地形や寺社仏閣等の歴史資源、様々な方向を向いた直線道 路により創出される多様な景観が特徴となっている。本ガイドラインではこの 景観の多様性を保全し、さらに引き出すための整備を行うことを目的とする。

景観形成の方針

1.坂が作り出す魅力を活かした街並みをつくる

景観形成の考え方

坂が作り出す多様な眺望、街路より一段高い住宅など特 色・魅力を保全し、さらに引き出すための整備を行う。

具体的な方策

- 現在の道路環境を守るために白線や沿道植栽の手入れを行う。
- 住宅用地の擁壁により視野を遮り、切り取られた景観を作り出す。
- 擁壁の設置ラインを定め、整然と並んだ擁壁の景観を創出する。



坂と直線道路が作り出す眺望を守る

2. 尾山台の寺社仏閣とまちとの調和を感じるまちなみをつくる

景観形成の考え方

寺社仏閣の環境に配慮し、歴史と眺めとまちとみどりの調 和を図る。

具体的な方策

- 宇佐神社、傳乗寺周辺では寺社仏閣の雰囲気と調和した形態意匠 および色彩にする。
- 傳乗寺、宇佐神社、八幡塚古墳の環境を整備し、五重塔などがアイス トップとなるように周辺環境を維持する。
- 宅地内の道路に面する部分のみどりの割合に規定を設け、宇佐神社、 傳乗寺のみどりと住宅地のみどりの連続性を持たせる。

寺社仏閣の周辺環境(断面図)

3.谷の可視性を活かした景観をつくる

景観形成の考え方

直線の道路により谷の全体を一望できる景観を保全する。

具体的な方策

- 斜面地を見通せる道路沿いでは、建物のセットフロントを防止する規 定を設け、見通しを妨げないよう工夫する。
- 道路沿いの植栽は道路を覆う程の高さのものは避ける。
- 直線がよりわかるよう、白線の現状に配慮する。



作成:東京都市大学都市空間牛成研究室